



京都 YWCA

11 2013

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

🎉 京都 YWCA90 周年お祝い会報告 🎉

100周年に向けて、新たな出発を誓う。

9月28日、京都YWCA90周年を祝う会が、関係団体や日本YWCA・他市YWCAからの参加を得て催されました。入順子牧師による記念礼拝のあと90年の歩みを大まかに振り返ってから、世代の異なる3名の会員から「私にとっての京都YWCA」を語ってもらいました。また、80歳を超えた会員の方々に「京都YWCA Wonderful Women賞」をお贈りしました。

90年の歩みは多彩であり、かつ平たんではなかったこと、一人ひとりの関わり方は多様ですが、それがつながりあって京都YWCAらしさを生み出しているを感じさせるものでした。手作りのケーキとお茶をいただいたあと、後半の「これからのYWCA」で3つの新事業の紹介が行われました。



お祝い会後の記念写真

国土交通省の「先導的事業」に選定されました。

京都YWCAの理念と活動を持続可能な形で次世代に引き継いでいくため、改修と組み合わせた事業の検討を重ね、昨年度一つの案にまとめました。その内容を「女性高齢者に住まいと社会参加の機会を提供する多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」という事業提案にまとめ、2013年度の国土交通省「高齢者・障害者・子育て世帯居住安定化推進事業<先導的事業>」に応募しました。その結果、9月に先導的事業として選定されたという通知をいただきました。同事業は高齢者、障害者、子育て世帯が安心して生活できる住まい・住環境の整備をめざし、モデルとなる先導的事業を公募するものです。私たちの提案は、3つの新事業（サービス付高齢者向け住宅、自立援助ホーム、ふれあい食堂）に同志社女子留学生寮を組み合わせ、乳児から高齢者まで、さらには多様な文化的背景をもつ人々との交流・協働を促し、高齢者には様々な社会参加の機会を提供しようというものです。

「多世代・多文化ふれあいコミュニティ」を目指します。

私たちの計画は次の考えに基づいています。

- 高齢者は他者と豊かな関係を築くことにより充実した生活を送ることができる。
- 子育て世代や社会的養護が必要な児童などへの支援が地域社会に求められている。
- 日本に居住する外国人は地域社会を文化的に豊かにしてくれる人々である。

京都YWCAが市民活動の拠点として蓄積した資源・ネットワークやコーディネート力を活かして、様々な特性をもつ人々が出会い、協働する「場」と「機会」を提供し、魅力ある多世代・多文化ふれあいコミュニティを創ろうとするものです。

この試みは私たちの努力と共に多くの人々のお支えが必要なことを訴えて、お祝い会は和やかな雰囲気うちに終了いたしました。

(上村 兪巳子)

「多世代・多文化ふれあいコミュニティ事業に向けた改修のための募金・会債」へのご協力をお願い

京都YWCAは2014年から改修を行い3つの新事業（「自立援助ホーム」「サービス付き高齢者向け住宅」「ふれあい食堂」）をスタートします。これまでの事業に新事業を組み合わせて、「多世代・多文化ふれあいコミュニティ」づくりに取り組みます。つきましては、みなさまに、京都YWCA新規事業に向けた改修のための募金および会債にご協力をお願い申し上げます。



改修後の中庭イメージ

目標：募金…1000万円
 会債…1500万円
 （会債は無利子で1口10万円、5年または10年のお預かり）

また、お知り合いの方で、京都YWCAの事業・活動に賛同し、今回の募金、会債にご協力くださる方をご紹介ください。事務所に趣意書を用意しております。ご希望の方にはこちらからお送りいたします。お気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

夏のキャンプに参加した福島の子供たちに、マイカップを送りました！

京都YWCAではこの夏（8月2日～9日）、まだまだ放射能汚染の懸念を抱きながらの生活を強いられている福島の小中学生を対象に、夏のフレッシュプログラムを開催しました。2011年の東日本震災以降、今回が5回目となる保養プログラムでした。今年のキャンプは、琵琶湖が眼前に広がる滋賀県の北小松研修所で、豊かな自然の中で、泳いだり陶芸体験をしたり、のびのびと過ごしました。9月の終わりにようやく焼きあがった「マイカップ」は、この夏の思い出として、子供たちのお宅へと送られました。

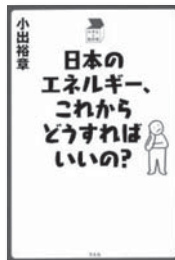


キャンプで作ったマイカップ

📖 オススメです！

「中学生の質問箱 日本のエネルギー、これからどうすればいいの？」

小出裕章 平凡社



「夢のエネルギー」といわれていた原子力の実態や恐ろしさが、一市民である私たちにも知られるようになりました。しかし、いまだ日本は原子力発電から抜け出すことが出来ていません。それは、原子力発電で儲けている人たちが多くいるから。財政が厳しい地方自治体で交付金などに頼らざるを得ない状況があるから。ということは既にご存知だと思います。

しかしこの本では、日本が原子力から抜け出せない理由に、原子力＝核だからということも指摘されています。恐ろしいことに、日本は原子力の平和利用という仮面を被った「核」を放棄したくないのです。

また、ウラン採掘、実験や廃棄物の処理、今回の原発事故…、原子力発電をすることで、多くの人々が世界中で被曝させられてきました。原子力は人間の力でコントロールできるものではなく、徹底的に弱い立場の人の犠牲の上に成り立っています。この不平等は、エネルギーの使い方全般にも言えることです。

私たちのいう、「豊かな暮らし」とは何なのでしょう。それは戦争に備えたり、自分たちの「今」さえ良ければいい暮らし方ではないはずです。

(伊原 千晶)

・京都YWCA90年の歩み・

現在の活動の基礎を築く（1976年～1990年）

・1975年に京都国際学校PTAより引き継がれたスリフトショップ（リサイクルセール）はテレビ取材を受けるなど、画期的なシステムとして日本社会に受け入れられた。当初は食品販売が主であったが、次第に洋服・雑貨などの扱が増え、今日も続く活動となる。



スリフトショップの準備

また1987年にはAWT（Asian Women Together）のちの多言語電話相談APT：Asian People Together）の歩みも始まった。1989年からは国際交流グループが発足し、にほんご教室「洛楽」につながっている。

洛西センター“じゃむじゃむ”（1991年～2001年）

・1981年より西京区洛西地域で学校や教会などを借りて地域の母親・子どもたちとの活動が始まっていたが、110年前に建てられたとい



“じゃむじゃむ”でのプログラム

う民家の一部を活動の拠点とし、念願の洛西センター“じゃむじゃむ”が生まれた（1991年）。2001年まで「命を育み平和を創り出す」をテーマにバザーや手作り市、子どもプログラム、トーク喫茶などのプログラムを展開、洛西の地で人々のネットワークを築いた。

(編集部)

シリーズ『理不尽な世界であきらめずに楽しく生きる』③

コミュニティカフェを作りたい

パレスチナ・オリーブ 皆川万葉

仙台の街中にコミュニティカフェを作ろうと呼びかけて集まってきたのは、カフェ経営者、幼稚園経営者、デザイナー、NPO スタッフ、パティシエなど、それぞれ異なった活動分野を持つ仲間たちでした。ホッとする場、県内外を結ぶ拠点、情報交換をする場、というだけでなく、これからの東北の暮らしをみんなで考えてつくっていく、そんな場を目指しました。

まずは、場所を借りてのイベントなどを始めて、並行してお店づくりを具体化していくという見通しで始めました。2011年7月に沖縄ナイト、9月にROCKカフェと、沖縄から支援で頂いた食材を使い、顔を合わせて楽しむ機会をつくりました。その後、「車座カフェトーク」、「みちのくらし」、というトークイベントや、生産者から話を聞くユーストリーム中継の「暮らしのシェア」などを行いました。当初は「せんだいコミュニティカフェ準備室」、2012年9月からは「コミュニティカフェ table (タブレ)」の名前で活動しました (<http://sendaicommucafe.blogspot.jp/>)。

「偉い人」から話を何う講演会ではなく、立場や世代を超えた多様な人々が気軽に集まりフラットに話を交わし、より良い暮らしを実現するために必要な情報を共有・交換できる場。これらのイベントを通して参加者の皆さんの声を聞き、本当にコミュニティカフェ的な場が求められていることを、ひしひし感じました。

物件探し難航

しかし、仙台の中心部は地震被害が大きく、空き物件がほとんどありません。また、安価な家賃が必須条件でしたが、仙台の皆が直接間接に被災している中、余裕のある大家さんが見つかりませんでした。それでも、オープンまでのスケジュールや改装計画を詳細に立てるところまで話が進みましたが、最終的にまとまりませんでした。時間が経つうちに、メンバーそれぞれの生活の変化や、(私を含めて)仙台からの引越もありました。いま、活動は休止中です。しかし、ここから派生した活動もあれこれ出てきました。

世界のYWCA紹介 ～シリーズ⑤～

インドYWCA



100年近くイギリスの植民地であり1947年ようやく独立を果たしたインドの現在の各宗教の割合は、ヒンドゥー教徒80.5%、イスラム教徒13.4%、キリスト教徒2.3%で、次いでシーク教徒、仏教徒などとなっている。女性を優遇する多くの憲法や法律があるにもかかわらず、ヒンドゥー教の影響は大きく、女性に対する暴力や人権侵害は現在でも様々な形で日常的に出現している。インドYWCAは1875年ムンバイに設立され、数回の移転を経て今はデリーに本部が置かれている。歴史ある施設を各地に所有し、退職した高齢女性

のための住居や、若者たちの宿泊所、ゲストハウス、働く女性のためのホステルなど様々な活動に利用している。

差別や暴力に苦しむ女性を守ることに力を注ぐ

インドYWCAは今、性的差別を受けている女性、社会的経済的に不当な扱いを受けている女性、差別的なカースト制度に苦しんでいる女性、あらゆる形の暴力を受けている女性をエンパワーすることに全力を傾けている。特に若い女性や少女の健康を守ることに力を注いでいる。2011年の年次報告によると、例えば「思春期の健康トレーニング・ワークショップ」が行われた。これにはダリット(不可触民)の若い女性2名も参加し彼女たちの話を聞く機会が得られた。また若い女性のための会報「Y's Eyes」を定期的に発行し、若い女性や男性が様々な意見を発表・交換する場としている。テーマはその都度決められており、この年度は「インターフェイス(共通領域)」や「環境」等々であった。

この記事を書くに当たって、国際委員会での勉強会で話題になったのは「ボラン

ティアとYWCAのビジョン」についてであった。京都YWCAのボランティアは、インドYWCAのように京都YWCAのビジョンを知りそして理解しているだろうか。ビジョンを知らないボランティアになっていないか、再考させられる機会となった。

(国際委員会)

ひとりで悩まないで!

知っていますか?
DVのこと



DVとは、夫婦や恋人などの、親しい男女の間で起こる暴力のことをいいます。

京都府では、被害者が安心して相談できる環境づくりと、DVを許さない社会づくりを進めています。

京都府府民生活部男女共同参画課
TEL 075-414-4291

<http://www.pref.kyoto.jp/josei/dv13.html>

今後のプログラム

YMCA/YWCA 合同祈禱週集会

全世界に広がる YMCA、YWCA に連なる人たちが、毎年一つのテーマをもとに聖書からのメッセージを聞き、祈りをもとにするときです。京都の合同祈禱週集会は、自分と社会との関わりを様々な視点から振り返るとともに、世界の問題について共に学ぶ場となっています。今年も活動のヒントや励ましを得られるときとなりそうです。ぜひご参加ください。

日 時：2013年11月16日(土)
19:00~20:30 終了予定
(受付 18:30~)

場 所：京都 YMCA マナホール
テーマ：Be the change
「出会い」×「学び」×「感動」

内 容：YMCA や YWCA での活動や出会いを通して変化したことを中心に、各団体から3人の方にお話をさせていただきます。

京都 YWCA90 周年クリスマスバザール

毎年恒例のクリスマスバザール。今年も90周年記念バザールです！さらに、今回のバザールは京都 YWCA の会館改修直前のラストチャンスです！毎回大好評のおいしい食べ物、掘り出し物商品販売、リ

サイクルショップ。ぜひこの機会にお越しください。

日 時：2013年12月7日(土)
10:00~15:00

入場料：100円(被災者支援活動に寄付します)

※受付で「お楽しみ抽選券」と交換します。

英語で楽しくトクリスマスパーティー

京都 YWCA の英会話専任講師と一緒に、ケーキのデコレーションやプレゼント交換、楽しいゲームをして、英語で楽しくクリスマスをお祝いします。

日 時：2013年12月22日(日)
14:00~16:00

対 象：小学1~6年生

参加費：1,000円(兄弟・姉妹割引あります。2人目から500円)

定 員：30名 ※先着順

子どもの居場所「ガジュマルの樹」冬休みデパート

～「平和」と「多文化共生」について、楽しく学ぶ冬休み～

冬休み中の小学生を対象にした「ガジュマルの樹」デパートプログラム。宿題をしたり、お友達と一緒に遊んだり、普

段の学校生活では得られない「学び」につながるワークショップも実施します。

日 時：2013年12月26日(木)
・27日(金)・28日(土)
それぞれ10:00~16:00

内 容：ワークショップ「世界で過ごす年末年始」「平和ってなんだろう?」など

対 象：小学1~6年生

参加費：全3日参加4,500円
1回参加2,000円

兄弟・姉妹割引あります。
(2人目から25%割引)

定 員：20名 ※先着順

スリフトショップよりお知らせ

京都 YWCA は新事業に向けて改修工事を行います。つきましてはスリフトショップへの寄贈品の受け取りを、段階的に終了いたします。

<寄贈の受付終了日>

・「着物」「雑貨」：10月26日(土)

・「衣類」「靴かばん」「アクセサリ」：12月28日(土)

*1月以降、しばらく寄贈品受付は行いません。

ご寄付

ありがとうございました。

2013年8月1日から2013年9月30日
寄付者一覧(敬称略、順不同)

一般寄付

菊池サリーナ

各指定寄付

*多世代・多文化ふれあいコミュニティ事業にむけた改修募金：
深田ローラ、上村愈巳子、廣田康子、松井郁子

*90周年みらい募金：

服部素 室紀子、狭間紀美子、片野福子、森律子、森雄二郎、中村和雄、安野洋子、井原圭子、祇園テル子、中村美知子、北垣景子、宮武美知子、別所加恵、北村保子、林律、リンパヤラヤスプレーニー、手島千景、東前正美、上島良彦、森克子、平野富希、

佐野千枝子、清水義、神岡茂子、池上信子、弘中奈都子、西森頼子、入順子、渡江理香、青木理恵子、西陣会、京都 YMCA、日本 YWCA、大阪 YWCA、名古屋 YWCA、福島 YWCA、浦和 YWCA、呉 YWCA、匿名1名

*東日本大震災被災者支援：

植田武彦、平野富希、木戸さやか、篠田茜、宮武美知子、平敏、イエニック原田ふたみ、山本知恵、井上依子、匿名1名

*APT：

澤敬子、神門佐千子、高山亨

*親・子育て支援委員会：

杉本康代、京都子ども文庫連絡会

*国際委員会：

宮武美知子(洛楽へ)、京都にほんご Rings

*平和委員会：

ブクラ有志(ブクラへ)

*スウォン YWCA 交流プログラム：

宮武美知子、スウォンプロジェクト有志

*カフェ事業運営委員会：

宮武美知子

*賛助員：

白根睦久



9月・10月／理事会報告

- 9条世界会議in関西に団体賛同。平和委員会が日本YWCAブースにて出席。
- 子どもサポーター養成講座 2013年11月21日~2014年1月に開催する。
(京都府地域力再生プロジェクト支援事業)
- 京都ロータリークラブから被災者支援活動に60万円のご寄付。
- 新事業に向けた改修工事のための募金・会債について趣意書を作成し配布開始。
- 90周年関係：スタンプ、クリアファイル、のぼり製作。90周年記念誌発行。
- 国土交通省の2013度高齢者・障害者・子育て世帯居住安定化推進事業<先導的的事业>に「女性高齢者に住まいと社会参加の機会を提供する多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」として申請し、「選定」された。
- 本館およびサマリア館の改修工事の内容およびスケジュール大枠を決定。

KYOTO YWCA No.517

2013年11月号(11月1日発行)

発行人 上村愈巳子

発行所 一般財団法人京都YWCA

京都市上京区室町通水上ル

電話 (075)431-0351 FAX (075)431-0352

e-mail office@kyoto.ywca.or.jp

URL http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替 01080-9-1566

口座名義 (一財)京都YWCA

定 価 50円